

令和2年1月4日

## 年頭所感

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会  
会長 白砂 清一

令和二年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。  
平素は当協会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼  
申し上げます。



今年は明るい話題に東京オリンピック開催があり、世界トップレベルのスポーツ観戦を楽しめる他、訪日観光客などによる経済波及効果が期待されます。国内外では課題も多くありますが、特に労働政策として通称「働き方改革関連法」が順次施行されており、容器検査所も労働環境の見直しや生産性の向上について検討していくことになります。当会は研修会など様々な形で会員に対応したいと考えております。

本年の容器再検査対象本数は 484 万本と前年より 2%ほど減少し、バルク貯槽のくず化については約 16,000 基と 2024 年迄増加すると予測しています。近年は災害に強い LP ガス、半導体製造分野、燃料電池車などに高圧ガス容器再検査の需要と技術革新への要望が高まっています。自然災害では地震や停電、河川氾濫に大規模な被害が出ており多数のガス容器も流出しました。当会では流出防止に自主基準を検討し、破損したガス容器のお問い合わせに対応するなど事業所の自主保安力を高める支援をしています。会員会社にはハザードマップを活用したアンケートに協力して頂きそのデータも検討中です。今後も災害や事故について関係団体や企業と連携して情報の共有を行いホームページ等で周知をしてまいります。

昨年から青年部会が発足し新たな活動が始まりました。技術委員会(LP ガス/一般高圧ガス)は講習会や技術資料の作成、講師派遣、各団体の委員会に参加するなど多岐にわたり活動しています。講習会は最新情報の提供と技術委員による分かり易い解説で毎年多くの事業所や関係者の皆様が受講されています。詳しいことはホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。

これからも事業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、日々進歩する容器再検査の技術と知見を高め保安を担う協会として真摯に取り組んでまいります。

今年も皆様の益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶と致します。